

平成30年度～31年度 小平市地域自立支援協議会 討議テーマ (案)

提案 「各会議体に討議テーマを提案し、協議と答申を依頼する。」

「全」は全体会、「幹」は幹事会、「当」は当事者・情報部会、「地」は地域部会を示します。  
 ○印は担当会議体、◎印は担当会議体として勉強会など工夫して共通認識を深めながら行います。  
 「連携・協働」は、地域自立支援協議会の担当会議体からを特に依頼するもの。  
 各会議体では、テーマの優先順位を決めて取り組むなどの調整も協議して進める。

No.	テーマ	進捗管理する主な会議体				
		全	幹	当	地	連携・協働
1	福祉施設の入所者の地域生活移行 (3年で3人減)		◎		○	①障がい者支援課 ②地域移行コーディネート事業者 ③市内入所施設
2	精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムの構築 (協議の場の設置)				○	①精神保健福祉業務連絡会
3	地域生活支援拠点等の整備	○	○	○	○	①新たな時限ワーキング ②他地域の視察
4	福祉就労から一般就労へ移行 (年間30人)		◎			①障がい者支援課
5	児童発達支援センターの設置 (学齢期ニーズの把握と親支援)	◎	○	○	○	①発達を支援する連絡会 ②(仮)児童発達支援センター検討委員会 ③障がい者支援課
6	保育所等訪問支援の充実	◎	○	○	○	①発達を支援する連絡会 ②(仮)児童発達支援センター検討委員会 ③障がい者支援課
7	重症心身障害児支援事業所の確保	◎	○	○	○	①発達を支援する連絡会 ②(仮)児童発達支援センター検討委員会 ③障がい者支援課

No.	テーマ	進捗管理する主な会議体				
		全	幹	当	地	連携・協働
8	障害児の医療的ケア	◎	○	○	○	①発達を支援する連絡会 ②(仮)児童発達支援センター 検討委員会 ③障がい者支援課
9	障害者差別解消法と取組み	◎				①障がい者支援課 ②権利擁護関連機関
10	新たな社会資源の整備状況				○	①相談支援ワーキング
11	困難事例・事業所が抱える課題		◎		○	①相談支援ワーキング
12	地域支援となる他分野交流・多職種連携 (緊急・日常:警察、ケアマネ、農業)	◎				①障がい者支援課 ②市役所担当課など
13	障害福祉計画の評価と進捗管理	○	○			①障がい者支援課
14	障害者福祉サービスの標準化や質の 確保・向上		○		○	①相談支援ワーキング
15	災害の準備(災害時個別支援計画、二 次避難所)	◎				①市役所 ②保健所
16	基幹相談支援センターの整備	◎	◎		○	①障がい者支援課 ②相談支援ワーキング